



たるさぽ通信

第11号 R2年2月21日
発行：小樽市生活サポートセンター
「たるさぽ」

みなさんこんにちは。小樽市生活サポートセンター「たるさぽ」です！（以下たるさぽと省略）
私たち「たるさぽ」はH27年4月1日に小樽市が開設した「仕事」や「生活」などで悩んでいる方の相談支援機関です。専門の相談員がお話を伺い、問題解決のためにサポートします。相談は無料です。

今年は降雪量が少なく暖冬でしたね。最近は少しずつ日も長くなってきて春の気配を感じています。
最近の「たるさぽ」の活動について報告致します！

職業人インタビュー vol.1

就労準備支援員の外山が、小樽で働かっこのいい人にインタビューをさせていただきました。
今回お話をしてくださったのは、「株式会社若草企業 介護事業部 デイサービスほーぷ」
で管理者として勤務する介護福祉士・社会福祉主事の山本めぐみ様です。
「はたらく」に関わる全てのひとに読んでほしいお話が聞けました。



山本 めぐみ様

Q:たるさぽ相談者のAさんをボランティアに受け入れ、その後雇用をするに至った経緯をお聞かせください。

A:介護人材不足ということもあり、ボランティアさんは大歓迎でした。

Aさんが数カ月間のボランティア中、休むことなく真面目に取り組んでいる姿を見て、
企業として「人を育てること」に目がいきました。

Q:業務の切り出しについて詳しく教えていただけますか？

A:入浴介助を1日3時間、週2~3日の条件で雇用しました。とても頑張ってくれています。

今は「これが出来て当たり前」という考えではなく、企業がその人に合った仕事を作り出して育成していく時代だと思います。若いひとって、好きなことなら頑張れるじゃないですか。だから、仕事でも好きなことを探してあげて、モチベーションを上げよう。若い人達の可能性を引き出すのが、今企業に求められる役割だと思います。

業務を切り出すことで他の職員が違う仕事に集中できるのでメリットも大きいと思います。

働くひとには、とにかく「休まないで来ること」を伝えます。
失敗してもいいから、来て学ぶこと。これが信念です。

Q:Aさんに伝えたことや、他の職員の方の受け入れ態勢について教えてください。

A:特別な事情がない限り「休まないこと」を伝えています。

具合が悪くなったら途中で帰ってもいい、失敗してもいいから職場に来て学ぶこと。これが私の信念です。

受け入れにあたっては、経営者や教育担当だけでなく現場で働いている職員の受け入れ態勢が欠かせないので、その方の得手不得手などを共有しています。



来訪者を暖かく出迎える明るいロビー。
ホールから、職員さんや利用者さんの笑い声が聞こえてきます。

若い人達の可能性を
引き出すのが、企業の役割。

就労準備支援事業利用者 OB インタビュー！

卒業生の B さん

Q:たるさぼの就労準備支援事業を利用したことで、何か変化はありましたか？

A:外出する機会や、人とコミュニケーションを取ることが増えました。
面倒だな…と思うこともありましたが、週に1回だし頑張っていました。
就労のきっかけは「欲が出たこと」です。
私の場合、欲しいものがあつたのでお金を稼いで手に入れたい！と思ったことです。
働いてから半年ほど経ちますが、生活にもメリハリが出て健康にも気を遣うようになりました。
今は、また次の目標に向けて日々頑張っています！

利用を悩んでいる人は、
「週1回だけ」と思って
挑戦してみてください！

令和元年度 市議会行政視察

今年度は例年になく全国各地の市議会議員の視察がとても多くありました。
7月の秋田県潟上市に始まり、2月の群馬県藤岡市まで11件もの視察がありました。
小樽市で行っている任意事業の取り組みや、たるさぼの体制（直営＋委託）に関心を持っていただき、熱心に説明を聞いてくださいました。たるさぼとしても他地区の取り組み等、参考にしていきたいと思えます。

市議会行政視察対応状況

7月24日	秋田県潟上市議会	社会厚生常任委員会行政視察
7月25日	兵庫県加古川市議会	創成会（会派）行政視察
8月8日	神奈川県海老名市議会	創志会（会派）行政視察
8月22日	千葉県市川市議会	会派行政視察
10月25日	兵庫県芦屋市議会	民生文教常任委員会行政視察
10月28日	新潟県小千谷市議会	民生産業委員会行政視察
10月30日	東京都昭島市議会	公明党（会派）行政視察
11月6日	群馬県館林市議会	市民福祉常任委員会行政視察
11月13日	福岡県春日市議会	会派行政視察
11月22日	山梨県山梨市議会	尚志会（会派）行政視察
2月6日	群馬県藤岡市議会	教務厚生常任委員会行政視察



※ 兵庫県芦屋市議会の皆さま



Facebook とアメブロにて
日々の活動の様子を随時報告
しています！ぜひご覧ください！

住所：小樽市花園4丁目2番14号 花園ビル2F
電話：0134-33-1124／0134-33-1128
FAX：0134-33-1128
メール：taru-sapo@city.otaru.lg.jp
Facebook：https://www.facebook.com/tarusapo/
アメブロ：http://ameblo.jp/tarusapo/